

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

前編
**K
T
O
K
6**

PTD





…はあー…
あつー…

えーっと…
ここ…だよな？



漫画の
お手伝いをする
事になった

お父さんの
知り合いの
漫画家さん

昔、お世話に
なつた人だから
どうしてもって
言われて渋々
引き受けたけど



頼む…

…



私だって

忙しいん
だけどなあ…



手伝いかあ…
正直あんまり
気乗りしないなあ

まあここまで
来たし…
仕方ない…

さっさと
終わらせて
帰ろう…

ガキヤ

き、君が…
結城君の
娘さんの…

結城…
美柑ちゃん？

この人が
お父さんの…

あ…っ

父がお世話に
なっております
結城才培の娘の
結城美柑です

…あの
先生？

…え？
あ…ああっ

漫画制作の
お手伝いに
来ました

ご丁寧にありがとう
外は暑かったですよ？
中エアコン効いてる
から上がって…っ

あ…はいっ
お邪魔します

よろしく
お願いしま

いやあ…助かったよ
方々尽くしても
モデルの折り合いが
付かなくてね

美柑ちゃんが
来てくれて
本当に助かるよ

き、綺麗な
仕事場ですね

片付いてないと
集中できないと
タイプでねえい

それに…
美柑ちゃんが
来てくれるんが
だから当然だよ

お父さんの
仕事場は
いつも荒れ放題
なのに…

漫画家でも
色々タイプが
あるんだなあ

ん？

—コレって…



ああ…うん
そうなんだ
流行ってる
らしくて…

知人に無理
言ってるね…
もらってね…



あの…
これってお香…
ですか？



女の子が
好きな匂い…
らしいんだけど
どうかな？

に、苦手
だったから
消すけど…

…いえ

そんな事は
ないですけど…



それじゃあ
さっそくだけ
お手伝いして
もらっていいかな？

あはいっ



—なんか…

不思議な香りの
するお香だなあ…



おお…っ!!

美柑ちゃん…
良く似合ってる
凄く可愛いよっ



あ…ありがとうございます…
ございます…

ちようど
今描いてる
漫画の題材が

メイド少女と
中年貴族との
禁じられた愛が
テーマだね

って何故
メイド服…?

美柑ちゃんには
ヒロインのモデルを
お願いしたいんだ

はあ…

じゃあ撮影…
は、始めようか?

ら、楽に
してくれ
いから

お手伝いって
モデルの事
だったんだ…

中年貴族と
メイドの少女の
恋の話って…

題材がかなり
怪しげだけど

お父さんの
知り合いだし

…いいよお
…いいよお
…凄くいいよ
美柑ちゃん

…大丈夫…
だよな？

どのポーズも
…素敵だ…
最高だよ…





少し…疲れ
ちゃったかな？

美柑ちゃん？
どうしたのかな？



……っ



なんだろ…コレ…
頭が…
ボー…ってする

あれ…？
なんか…

あ…いえ…
大丈夫です

なんか…
ふわふわする…



美柑ちゃん
提案なんだけど
いいかな？

せっかくだから
二人で登場人物に
なり切ってみよう

ボクがご主人様で
美柑ちゃんが
ボクのメイド…

メイド…？

今からボクが
美柑ちゃんのだ
ご主人様…

ご主人…
様…？



あくまで
心理描写の
参考だよ

いいかな？

は…い



ちなみに…

ご主人様の命令は
絶対服従だよ
いいね？

絶対服従…

は…い…
ご主人様…



…スカートをと
たくし上げて
パンツ見せて…っ

ご主人様の命令は…

は…

絶対服従…

これ…で…
いいですか？

私…何…
や…つ…て…る…ん…だ…ろ…

ご主人…
様…

でも…どうせ…
いつもリトに…
見られてるし…

これくらいなら…
いいよね…

もっ…

もっと近くで
見ても…いい…
いいかな…っ？





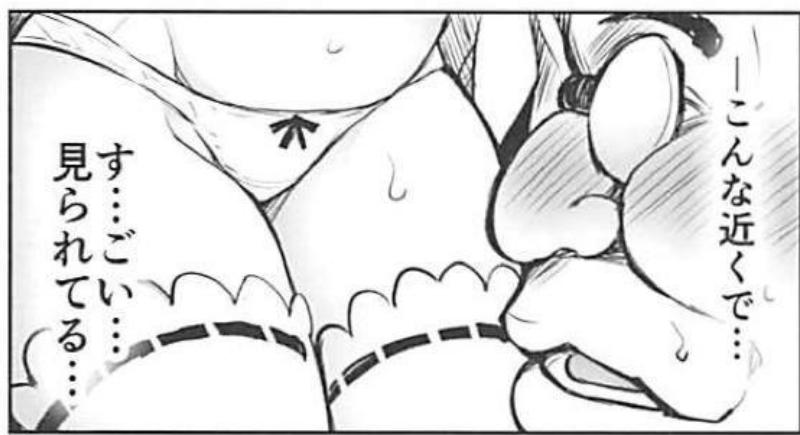
ドキドキ…
しま…すっ

は…恥ずか…
しくて…っ



心理描写の
参考にしたから
正直に答えて

ね、ねえ…？
今こうして見られて
…どんな気持ち？



—こんな近くで…

す…ごい…
見られてる…



—触
って…



あ…あの…
触るのは…

ちよっ…
ご主人…様



そ、そうなんだ…
ほ…他には…
何かあるかな？

触られた時の
リアクションも
見ておきたい…

気にしないで
大丈夫だよ…

そう…
いうの…

本…当に…
困るん…
ですけど…

—コレ…やば…いかも
本…当に…変な気分…
な…つて…き…ち…や…つ…た…

ご主人様の命令は
絶対服従

だから触っても
大丈夫…

だよな？

ポ
ー
ー
ー

あ…はい…

大…丈夫…
でした…



えっちな気持ちになっっちゃったかな



美柑ちゃん…
もしかして



ん…っ

あ…

ジュッ
ジュッ



美柑ちゃんは
イケない子だ…



ご主人様に
触られてえっちな
なっっちゃうなんて

なっ…
え…?



ああ…駄目…
もう…私…



…今どういう
気持ちなのか
聞いていいかな?

あ…え…
あの…

どんな気持ちって
そんなこと…
言われても…っ

何でこんな…っ

胸が苦しい…っ
もう立って…
られない…

ドキドキしすぎて…
どうにか…っ
なっちやいそっ

こんなおじさん…
相手なのに…っし
私…ドキドキして…

や…ばいっ
変になってる…

私…今…絶対
変になってる…





美柑ちゃん？
どうか？
したのかな？

あ…の…
私…もう…

ああ…
そうだっ

…もう…
やめなきゃ…

絶対…
良くない事に…



さっき話した
今描いてる
漫画の話…

導入で少し…
迷っててね…



冴えない
中年貴族と
メイドの少女

例えるなら
今のボク達の
ように

初めて
出会った
二人…

はっ

は

…



…面識も無く
歳の差もある男女が
恋に落ち…禁断の愛に
堕ちていく物語…

…その
導入部分…

こうして実際に
距離を縮めてみて…

触れ合って
みたら…

美柑ちゃんは
えっちな気持ちに
なってる…

ボクも
美柑ちゃんに
凄い魅力を
感じていて…

これって…もう
ボク達二人は
惹かれ合っている
という事なんじゃ
ないかな？

何…言ってる…

現にこうして
今日は初めて出会った
歳の差もある…
恋仲でもない二人が

こんなに密着して
お互いを意識して
欲情した感情を
抱いている…

なら…このまま
流れに身を
任せてみたら…

…あ…の…

そう…例えば
このまま流れで
キス…したら

ボク達が
どうなるのか…
漫画のためにも
知っておきたい



もうこんな
時間か…

このくらいに
しておこうか…

遅くなっても
良くないし

今日は…
とても参考に
なったよ…

ありがとう…
美柑ちゃん

よかったですら…
…家まで
送ろうか？

……っ

はっ

い…いえ…
大丈夫です…

一人で…
帰れますから…

美柑ちゃんとは
また会えると
嬉しいなあ…

また機会が
あれば是非とも
よろしくね



どうして
私…

あんな事を…



お父さんの
お世話になった人
っていうけど

今思うと
絶対ヤバい人
だった…



何かの拍子にリトと
変な感じになる事は
今までもあったけど…

自分が
自分じゃない感覚…
あんなの初めてだった…



……っ



なのに…
それなのに

あの時の事が
頭から離れなくて…

私は……



幼いメイド少女と
芽えない中年貴族との
禁じられた愛…だっけ？

今思うと全然
意味わかんないし…



もしあのままに
身を任せていたら...

あの人とキス...
しちゃってたら



いやいや
ありえないからっ

明らかに
お父さんより
年上の...

おじさんと...
そんなこと...

でも...もし仮に
あのまま...

流れに...
身を任せていたら



今まで経験した事
無いような...

えっちな事...

ああ...だめ...っ

イケない事って
思うほど…
興奮して…っ

あの時の事考えて…
えっちな気分になっ
ちやうなんて

ちやん

くちやん

はっ…

はっ…
あ…

私…ほんとに
どうか
ちやん…っ

こんな事…
しちやダメなのに…っ

あ…

我慢できな…っ

もう少しで…っ

イケそう…っ

イク…っ

おいしい
美柑

はっ…

はっ…

くちやん

あ…

どく

あ…
あ…

い…

親父から…
伝…言…

— あ…れ…? —

…っ

は…

はっ

あ…

— リト…? —

モ…

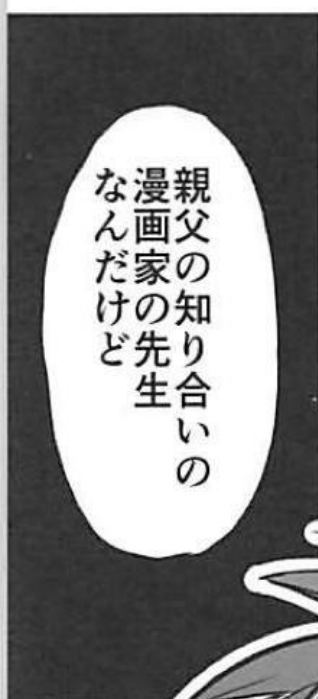
— なんて…
そんな驚いた顔して… —

あ…え…?

あ…っ

あの

— 私…
何して… —



…あの時の…

続き…っ

親父の知り合いの
漫画家の所に行
ったんだろ？

その時に美柑の事
えらく気に入って
また来て欲しいって
…何か聞いてる？

また…？

美柑…？
どうした？

別…に…

…っ…私…

何…
考えて…っ

ド
ド
ド

美柑？

—もしまた…
あの時みたいにな
ったら…

断った方が…
分かってる

—で



馬鹿な事……
考えてる……

……私……

わ……たし……
行くよ……



ここで断れば……

もう……
あの時の続きは……



……なら……
いいけど……

じゃあ先方
には大丈夫って
伝えておくよ

うん……



何も……
ないよ……
大丈夫だから
心配しないで……



……もしかして
何かあった？



本当の事なんて……
言えるわけない……

トク
ごめん……リト……
大丈夫だから……

トク
もう一回だけ……
これで最後にするから……

トク
トク
トク

私がしっかり
していれば…

前みたいになら
ない感じに

いいよお…
美柑ちゃん
凄く可愛いよお

これで最後に
すれば大丈夫…

ご主人…様…♡

美柑ちゃん…っ
もっと良く…
見せてくれる？

大丈夫…まだ
変な感じに
なっていない…

私が気を
つけてれば
大丈夫…



ご主人様に
パンツ見られて

どんな気持ち
なのかな...?



ねえ...
美柑ちゃん

ーリト...

私は...
大丈夫だから...



これはあくまで
漫画のヒロインを...
演じてるだけだから...

ご主人様に
見られて...

はっ...

はっ...

...凄く...

ドキドキ...

してます...♡



えっちな
美柑ちゃんが
好きだよ

嬉しい...
です...



見られてるだけで
ドキドキしちゃう
なんて...

美柑ちゃんは
えっちな子
なんだねえ

でも...

前回と今回で一体
どういふ心境の変化が
あったのかな？

参考までに
教えて
くれるかな？

は……っ……

ア……

は……
あ……っ

あ……

は……

は……

ア……

あの時の事が……
頭から離れなくて……
あのまま続けてたら……

どうなって……
たんだらうって……

その事ばかり……
考えて……ずっと……
えっちな事……
考えて……ました……♡

あ……

は……

は……

は……

ア……

ア……

ボクも今日まで
ずっと考えてた...

あっ♡

この人に
触られるの...

なんで...
こんな...♡

美柑ちゃんも
そうなんだろ？

美柑ちゃんのココ...
もうこんなに...
熱くなってる...

ほんと...に...
ヤバ...い♡

あの時...続きを
してたらどうなっ
たんだろう...ってね

...トロトロに
なっちゃってる...

はっ♡
ビクッ

あっ...♡
あっ...♡

はっ♡

くっ♡

くっ♡

ググ...♡

ググ...♡

ご主人様に
触られて気持ち良くな
ったのかな？

もう…我慢
出来な…っ

私…もう…
イっちゃう…っ

イ…っ

—なんで…っ
イケな…っ!?

まだイっちゃ
駄目だぞお
我慢して…ッ

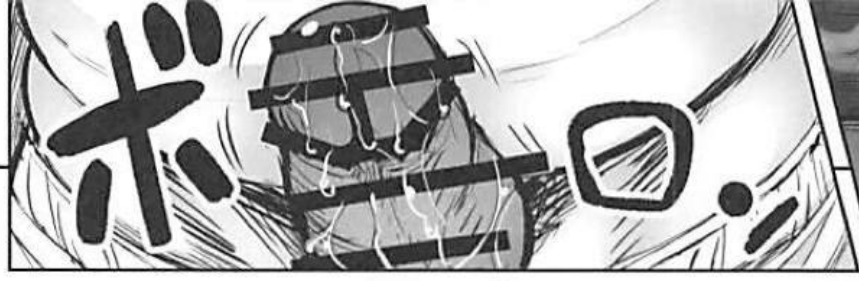
駄目じゃないか
ご主人様の許可なく
一人で気持ち良くな
るなんて…っ

ご主人…さまあ…
私…もう…っ
イカ…せて…っ

お願い…
ですから…

まだダメ…
前にも言ったでしょ
ご主人様の命令は
絶対だ…っ





気持ち良くなり
なりたいなら

!?



ストゥ...



...これって...

.....

二人で一緒に
じゃないとね

美柑ちゃんと
一緒に気持ち良
なりたくてずっと
我慢してたんだ



これ以上
流されたら

だから...さ...
いいよね?
美柑ちゃん

ああ...だめ



クミ...



あ…の…私…
これ以上は…
もう…

本当に
するわけ
じゃなくて…

あくまで
フリだから

はっ
だめ…なのに…



あくまで漫画の為の
シミュレーション
だから安心して
くれていい

美柑ちゃんの
嫌がる事は
絶対にしないって
誓うよ…

でもね…
これだけは
聞いて欲しい



ボクは本当に
美柑ちゃんの事
好きなんだ…

君と初めて
出会った時から
ずっと惹かれてた…

美柑ちゃんは
どうかかな…?
ボクのこと
どう思ってる…?

…な…っ
あ…え…?

—これって…
告白…?



—好きって…
漫画の設定じゃなくて
本当に好きって事…？

ちよ…
ま…

あ…

や…め

そんな…の…
ダメに…決まって…



ああ…だめっ…
ちゃん…と
断らなきゃ…

ここで流されたら
本当に取返しが
つかなく…



大丈夫…っ
本当に入れたり
しないからっ

擦る…だけ…っ
だから…っ
いいよね…っ



あの時の続き…
美柑ちゃんも
したいよねえ？

…続き…
あの時の続き
…キス…だ…



ボク…凄
興奮して…もう
我慢出来ないっ

もう…っ
いいよね？
始めるよ？

美柑ちゃん…？
どうしたの？

はっ
キス…は…
駄目…っ

今こうしてる
密着してるだけで
ヤバいの…

これ以上…
何かあったら…
私…もう…っ

…好きだよ
美柑ちゃん

…ボクと…
恋人になって…

—恋人…

恋人になる二人が
キスするのは
当たり前だよな？

美柑ちゃんも
したいよね？
キス…

あの時の続きだよ
舌出して…
美柑ちゃん…

恋人…なら
キスするのは
当たり前…

…はい

あの時の続き…



……っ
ちゅっ

ズル
ズル

……これが……
キス……っ♡

ドキドキしすぎて
胸が……苦し……っ

ちゅらっ♡

ズル

私……凄く……
興奮しちゃってる……

あの時の……
続き……っ

これ……
スゴ……っ♡

ちゅらっ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ちゅらっ

ん

ん

ん

ちゅら

ん

ん

ん



ああ... 私...

これが...
ファースト...
キスだ...

コレ...ほんと...に
ヤバ...い...♡

これが...あの時の
続き...なんだ

私...っ



こんなの...
抵抗なんて...
出来な...っ

こんなの...
初めて...♡

んんん
んんん
んんん

キスしながら…

おちんちんで…
コスられて…っ

—こんなのに…

リトと違って
したことない…のに…

ちゅっ

んっ
ちゅっ
ちゅっ

ボッ

ボッ

—コレ…
本当に…

えっち…
してるみたい…

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ

美柑ちゃんの唇…
甘くて…とっても
美味しいよ…

あ…っ
またキス…
されちゃう…

恋人…同士の
キス…っ

あ

ちゅっ
ちゅっ

んっ

んっ

「こんなになら
気持ち良いなら…」

ちゅらららら

もう…

ちゅふい…

ん…

ちゅ

ん

ん…

「どうにでも
なっちゃえ…♡」

ずっ

ずっ

ずっ

ちゅ

あ…このキス…
すぐく…深い…
奥まで…届いて…

気持ち…いい…
良すぎて…っ
胸が…苦し…っ♡

ん…

ん…

ずっ

こんな恋人
みたいなキス…

身体が勝手に
応じちゃう…

はっ

あ

は

ん

ん

ん

こんなの…
ズルい…よお…

本当に…
好きになっちゃう…♡

んぐら…

んぐら…

ずちゅ♡

ずちゅ♡





最高だよ…っ
美柑ちゃん…

もう美柑ちゃん
しか見えないっ

ばん
ばん
ばん

美柑ちゃん…っ
好きだ…っ
愛してる…っ

愛しているんだ…っ
一目見た時から…
ずっと好きだったっ

あ
あ
あ



正直に答えて…
美柑ちゃんっ

ご主人様の
命令…っ

おん
おん



美柑ちゃんは…
ボクのこと…
どう思ってる…っ？

その質問に
答えたら…もう…
取り返しが…っ

うあ…

あ…

はっ

はっ

おん
おん

私……っ

私も……っ
ご主人様の事が
好き……っ♡

……愛して……
ます……っ♡

あれ……私……
何言ってる……

ボク達
両思いだ……っ

嬉しいよ……っ
美柑ちゃんっ





美柑ちゃんっ
好きだよっっ

私達…
両想い…なんだ…

スゴ…ッ
…激し…っ♡

ぽんっ♡

ぽんっ♡

ぽんっ♡

こんなに求められたら
足りなくなっちゃうっ♡



美柑ちゃん…っ
キス…っ
誓いのキスしよ

誓いの…キス…

う…あ
あ…あ



本当にえっちしたく
なっちゃうっ♡

びゅん



—もう…っ

びゅん



そんなのしたら…
私…本当につ

くちゅ

—ああ…
誓いのキス…

—…キス…好き…
凄く愛し合えてる
気がする…♡

ん…♡
ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡
ん…♡

ん…♡
ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡
ん…♡

ん…♡

ん…♡

ん…♡
ん…♡

—こんな気持ち…
初めて…♡

愛してます…
ご主人様…♡





もう何されたって
いいから…

めちやくちやに
してもいいから…

私……



もう…全部
捧げてもいい…っ

身も心も…
ご主人様のモノに…っ

美柑ちゃんっ
ボク…もう…っ

—もう…イク…っ



一緒に…っ
イこう…っ

—一緒に…

—イツちゃ…っ♡

あ♡
は♡



あ...あ...あ

あ...あ...あ

ーイツ...ツ

ド
ユ
ル
ル

ド
ユ
ル
ル

あつ...の
出...てる...



こんなの...
知ったら...

ど...ど...ど

だ...だ...だ

ダメに...
なっちゃう...

あ...あ

は...は

あ...あ

コ...コ

ド
ユ
ル
ル



ご主人様のが…
私に…っ♡

す…ごい…
ドキドキする…♡

あ…

お…

ぶる…

あ…

これが…精液…
あつくて…
ドロドロして…

もし…コレが
中に出されてたら…

赤ちゃん…
出来ちゃったかも…

…本当にえっち…
しちゃってたら…っ



美柑ちゃん…
どうだった…？

疑似的ではあるけど
身体を重ねてみて

ヒロインが
どう思ったのか
聞かせて…

…あ…

え…



…気持ちいいの…
もっと…

そうだよね…

もっと…
したいよね？
えっちなこと…

それにボクも…
美柑ちゃんと
同じ気持ち…



もう…漫画の事は
抜きにしてさ…

気の済むまで
しちやおうか…
えっちなこと…

もちろん本番は
しないから
いいよね…？

はあい…
ご主人様…♡

もっと…
気持ち良い事…



本当に…
えっちな…しても
いいのに…

どうせ…も…
…拒めない…



寝…過ぎ
ちや…つたのか…

…あー…



……っ



って…あれ？

って…もう
こんな時間!?



やっべえ…
今何時だ…？

美柑がいるなら
起こして
もらえ…って
油断してた…



もしかして
美柑のやつ

まだ…
帰ってない…？

確か…親父の
知り合いの…
漫画家の所だっけ？



—迎えに行った方が
いいかな…？

あ

あ

ん

キ

ん



KTOK6

～後編～

ネームは出来てるので
いつか続きが
出せたらいいなー…(；)
と思いつつ…お買上げ頂き
ありがとうございました！
次は冬コミ参加予定です。
何を描くかは未定—
予定は未定…

「KTOK6～前編～」

発行日：2018/8/12

発行：PTD・達一文字

mail:tatsu36037@yahoo.co.jp

Twitter：https://twitter.com/PTD_tatsu

Pixiv：<https://www.pixiv.net/member.php?id=269903>

印刷：SUNGROUP/ハイビジョン印刷

前回から3年半ぶりになっ
てしまいましたが…
とにもかくにも

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

ハイビジョン印刷 ドットコム

ありがとうございました！
またよろしくお願ひします！
何かあればメールかツイッターにどうぞ(；)

18歳未満の閲覧を禁止します。
無断転載及び複製、WEB上への

KToK6 ~前編~

presented by *PTD*
for adult only

